

平成 20年 12月 9日

新宿区長 殿

法人名 特定非営利活動法人  
東京都中途失聴・難聴者協会  
所在地 新宿区新宿 2-13-11-1003  
(フリガナ) タカオカ タダシ  
代表者氏名 高岡 正

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

## 記

## 1 助成対象事業

事業名	プラネタリウム施設を使った講演会と字幕付きプラネタリウム
実施日時又は期間	平成20年10月13日（月・祝）午後1時～3時
対象者の範囲及び人数	新宿区民、聴覚障害者、聴覚障害をもつ子ども
事業内容	新宿コズミックセンター内のプラネタリウム番組に字幕を付けて上映し、聞こえる人、聞こえない人が共にプラネタリウムを楽しむ。 宇宙に関する講演会をパソコン要約筆記付で行う。
具体的な活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の上映、反省を踏まえて、機器に工夫をしてより見やすい字幕づくりを目指した。音声に合わせて字幕を出す練習を繰り返した。プロジェクタとパソコンの接続方法、プロジェクタの機能の活用方法を試行錯誤しながら研究。</li> <li>・レガス新宿の協力を得て、番組台本、音声テープを借り、字幕づくりを行った。今回は、「スポレク 2008」と同時開催をし、字幕の必要性を一般の方々に訴えることも含めての事業となった。</li> <li>・天文の話を一般の方々にやさしく話すという活動をされている、京都大学の嶺重教授を講師にお招きし、「宇宙と私たち」というテーマで講演を行った。聞こえない方にも分かりやすいように、パワーポイントをドームに映し出し、パソコン要約筆記による通訳、手話通訳もつけた。</li> <li>・新宿区の協力を得て、チラシを配布。またホームページにおいても広報をした。</li> </ul>
事業の成果	100名以上の参加者があった。アンケートをとったところ、「またやってほしい」、「他のプログラムでも見たい」などの意見が寄せられた。講演会に関しては、「これまでこのような内容の講演会は通訳がないので聞けなかったが、今回は講師の努力と要約筆記があって、理解でき感動した」という声があった。レガス新宿の職員、プラネタリウムの先生方もいろいろ助言をしてくださり、当日も配慮していただいた。レガス新宿との協働で多くの方々に見ていただけたことはよかった。

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			167,513 円
	参加費・資料代等			円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金		150,000 円
	<b>計</b>			<b>317,513 円</b>
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	2,800 円	大久保地域センター（1800、800） 自立支援センター（200）〔室料〕	
	宣伝費	17,248 円	用紙代 9,248 郵送費 8,000	
	リース費	円		
	消耗品費	37,779 円	インク代（6,300）マスター代（15,120） 事務用品費（16,359）	
	謝礼	91,000 円	講師（30,000）手話通訳（2,000×2名）当日要員費（3,000×3名） 磁気誘導ループ取付謝礼(25,000) 実行委員謝礼3名（23,000）	
	人件費	46,000 円	職員人件費（詳細別紙）（34,000+12,000[当日]）	
	材料費	4,772 円	機材加工材料	
	交通費	10,840 円	実行委員・職員交通費	
	その他諸経費	95,210 円	字幕委託費（全要研）30,000・要約筆記 29460（9,820×3名） 運搬費(8,750)駐車場代(2,000)FM補聴システム賃借取付(25,000)	
	助成対象事業費（小計）	305,649 円		
余 剰 金	0 円			
助成対象外事業費	11,864 円	講師謝礼超過分 3,333 スタッフ昼食代 6,531 名古屋視察費補助 2,000		
<b>事業総額</b>		<b>317,513 円</b>		

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	ドームを使っでの講演会は初めての試みであったが、必要な下見をし、レガス新宿との打ち合わせもスムーズにできて、字幕付きの講演会が実現できた。プラネタリウムの字幕投影も、工夫を重ねた結果、前回よりもかなり見やすくなった。子供向けにルビをどうするかなどが課題として残った。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	「スポレク 2008」と同時開催をした結果、多くの方に字幕付きプラネタリウムを知っていただいた。日程を決めるにあたり、レガス新宿からの提案で同時開催になったが、職員の方の支援があり成功した。今後、多様な形で、レガス新宿と協働、地域の団体との交流を検討中である。
新たに気づいた課題は何か。	大人も子供もいっしょに見たが、漢字の量、ルビをどうするかなど、字幕づくりに課題がのこった。簡単な機材で上映できるように、機器担当の実行委員が努力したが、今後のことも考え、人材を増やしたい。地域との協働をより強化したい。
理解者や支援者が広がったか。	今回も、レガス新宿の職員さんとの打ち合わせの際に、聞こえない、聞こえないくい方のコミュニケーションについても説明しながら行った。字幕の必要性、手話、要約筆記、磁気ループなどについてより理解していただいたと思う。講師の嶺重先生は、関連する団体等でこの事業のことを話してくださっている。全国どこでも字幕付きでプラネタリウムが見られるように、支援をしてくださっている。
事務局の執行体制は十分だったか。	事務局だけでは実行できない事業。実行委員を募り、計画、調査研究、リハーサル、当日の運営等を分担して行った。多くのボランティアが必要だったが、当日は昨年以上に協力者がいた。練習、当日とも機材運搬が必要だったので、職員が対応した。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	この事業を継続させて、聞こえない方が楽しめる機会を継続的に作ることは必要だと考えている。しかし日常的に、コミュニケーションに理解を深める活動が必要である。人を集めるのが課題なので、「スポレク 2008」などの集まりで、協会のコーナーを設けるなども考えてみたい。
その他	昨年のプラネタリウムでは、生の解説が少なく物足りないという声もあった。今回、月に関しての生の解説があり楽しめた。ちょうどNHKで月探索機「かぐや」の番組直前で、その案内などもあり、とてもよかった。嶺重先生は、京都から日帰りでの講演に来てくださった。川口市立科学館の職員の方に紹介していただいたが、下見、打ち合わせにも来てくださり感謝している。

#### 4 活動の成果

\*事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

\*参加者の意見なども報告してください。

##### <添付資料>

- ・ チラシ
- ・ 当日配布のしおり
- ・ 講師PPT資料（一部）
- ・ 当日の写真（写っておられる方全員の許可を取って提出しているわけではありませんので、取り扱いに注意してください）
- ・ 領収書写し（額面 10,000 円以上のもの）